



小中学生版

Vol.13

発行所 〒329-0101
栃木県下都賀郡野木町大字友沼5840-7
野木町社会福祉協議会
(この新聞は共同募金配分金事業で発行されています)
平成30年2月22日発行

みんなで考える福祉教育

地域福祉新聞



～もくじ～

- 友沼小学校 P2
- 野木小学校 P3
- 佐川野小学校 P4
- 南赤塚小学校 P5
- 新橋小学校 P6
- 野木中学校 P7
- 野木第二中学校 P8
- 協力ボランティア P9
- 夏の思い出 P10

野木町社会福祉協議会では、町内の小・中学校7校を「学童・生徒のボランティア活動普及事業」協力校に指定し、各校の福祉教育担当の先生方と社会福祉協議会、また、日頃より福祉教育に携わっているボランティアの方々と交えて年3回連絡会議を開催しています。連絡会議では、各校における福祉教育の計画や社会福祉協議会が行う福祉教育事業、地域福祉新聞の記事・校正など意見交換を行っています。

ここでは、平成29年度に行われた各校の事業や、児童・生徒の感想文を紹介するとともに、福祉教育に協力していただいているボランティアの方々、社会福祉協議会で開催した講座の様子を掲載いたしました。地域福祉新聞をきっかけに、身近な方々と福祉について話し合ってみてください。

友沼小学校では、4年生が「総合的な学習の時間」に福祉の学習をしています。ハンディキャップ体験では、「アイマスク体験」「車いす体験」「高齢者疑似体験」を実施し、ハンディキャップのある方がおかれている状況や、障がいに対する理解を深めることを目標に活動しました。チャレンジフェスティバルでは、耳が不自由な方からお話を聞いたり、手話サークル「虹の会」「野和の会」の皆様から手話を教えていただいたり、貴重な経験をすることができました。

高齢者疑似体験

4年 ^{ながはま あいき} 長濱 愛輝

高齢者疑似体験で目の前がうす暗かったり豆などがとりにくかったりすることが分かったので、もしそのようなこまっている人がいたら、手をかしてあげたいと思います。



4年 ^{たての ゆうた} 館野 侑太

高齢者疑似体験は体が重たいし、目も見えにくいから苦しかったです。これで生活していると考えたら、高齢者の方は大変だと思いました。だから、積極的に高齢者に声をかけ、荷物を持ってあげるなどして助けたいです。

アイマスク体験

4年 ^{ためが い りょうたろう} 爲我井 遼太郎

アイマスク体験ではまっくらで物に当たらないかなとすごく心配しながら歩きました。この体験をとおして、目が不自由な人にとって、「白杖」と助けてくれる人はとても大切だということが分かりました。だから、目の不自由な人がいたら、「ここを曲がる」や「これがここにある」などの声をかけると、相手もうれしいと思いました。



4年 ^{うちだ あやな} 内田 綾海

アイマスク体験ではペアの人が言葉で言ってくれても、少ししか歩くことができなかったため、1人で歩いている目の不自由な人は大変だと思いました。これから、目の不自由な人を見かけたら体験活動でやったように「ここにはだんさがある」などを教えてあげたいです。

車いす体験

4年 ^{あらい ゆり} 荒井 結梨

車いす体験では最初は楽しいなという気持ちで乗っていましたが、でも、私たちは平らな所で乗っていただけだったけれど、じゃり道や日常生活の中では車いすは大変だと思いました。これからは、車いすに乗っている人が大変そうだったら、助けてあげようと思いました。



4年 ^{わたなべ みわ} 渡邊 美羽

この体験をするまで車いすの人がこんなに大変だと思いませんでした。マットから下りるときにゆっくり下ろしてあげることなど、人のやさしさがあるからできるのだなと思いました。車いす体験をしたので、これからも車いすの人を見かけたら助けてあげたいです。

手話体験

4年 ^{あらい まさむね} 荒井 将宗

手話はいろいろなことができることがわかりました。1、2回手を動かすだけで、「こんにちは」ができるなんて初めて知りました。だから、とても楽しく学ぶことができました。



4年 ^{たての みきと} 館野 樹音

自分の名前の手話を覚えたり、「おはよう」、「こんにちは」などのあいさつを覚えてもらったりしました。これからは、耳が不自由な人がこまっていたら、紙に場所を書いて道を教えてあげるなどして、助けてあげたいと思います。



野木 小学校

野木小学校では、4年生の総合的な学習の時間に、福祉について学習しています。ハンディキャップ体験、手話や点字サークルの方々とのふれあい、盲導犬講座など、貴重な体験を通じて、「ひとにやさしい」とはどんなことなのか、自分にこれからできることはなにか、考えを深めることができました。

4年 高橋 菜摘

私は、手話体験をしました。最初はよく分からなかったけれど、手話サークルの方が丁寧に教えてくださって、自分の名前と学校を手話で表すことができました。これからは、手話を使って耳の不自由な人と会話してみたいです。



4年 川田 梨花

耳の不自由な人に声をかけるときは、肩を優しくたたき、気付いて目が合ったら「ニコッ」と笑顔になると、相手も自分も楽しくなるのでいいなと思いました。気持ちを伝えるために表情も考えながら楽しく会話したいです。教えてもらったことを、今度は私がいろいろな人に教えてあげたいです。



4年 川島 大智

盲導犬と実際に歩いてみました。緊張したけれど、指示をしたらそのとおりに動いてくれました。そして、終わったらいっぱいほめてあげると教わったので、いっぱいほめてあげました。盲導犬は、目の不自由な人のために、簡単な指示でも動けるように、たくさん訓練しているんだなと思いました。



4年 森 悠太

盲導犬について、いろいろなことを教えてもらいました。盲導犬は、指示をしっかりと聞いて動いてくれました。盲導犬は、目の不自由な人全員にいるわけではないので、他の人も手助けが必要なんだと分かりました。盲導犬の数が増えて、いい社会を作っていけたらいいなと思いました。



4年 板川 高文

アイマスク体験では、アイマスクをして歩きました。階段を上るのがこわかったです。でも、友達が手をつないで、階段があることを教えてくれたので、安全に上ることができました。次になにがあるか教えてあげるとよいと分かりました。



4年 長澤 みなみ

高齢者体験をしました。すごく体が重かったし、階段を下りる時がこわいと思いました。急な階段だと、一人ではこわくて下りられないと思います。だから、困っている人を見つけたら、声をかけて手伝ってあげたいです。



4年 瀧澤 一輝

車いす体験をして、段差を上るのがとてもむずかしかったです。手伝ってくれる人がいないと上れないことが分かりました。段差を下るときもたいへんだったので、手伝ってもらいました。体験できてとてもよかったです。町で車いすに乗っている人を見かけたら助けてあげたいと思いました。



4年 杉淵 柊斗

ぼくは、点字をうってみて、点字の本などを作っている人はすごいと思いました。作るのはいへんだけれど、目が不自由な人も本を楽しめるようになるのでいいと思います。ぼくのうった点字を読んでもらえてうれしかったです。またほかの言葉もうってみたいです。



4年 松本 凌空

ぼくは、目の不自由な人の話を聞いて、駅で電車に乗るのが一番こわいことが分かりました。ぼくが目が不自由だったら、ぼくもこわいと思います。だからお話にあったように、目を大切にしたいです。そして他にも人のためになるお手伝いをしたいです。



佐川野 小学校

佐川野小学校では、みんなにとって「住みやすい町」とはどういう町なのかを一人一人が自分のこととして考えました。全校合唱では、「YUME日和」を手話を交えて歌うことにチャレンジし、10月12日(木)の町小中合同音楽会で発表しました。また、4年生では、総合的な学習の時間に「高齢者疑似体験」「アイマスク体験」「車椅子体験」「点字体験」の4つの福祉体験学習をしました。各体験をした児童の感想を紹介します。

10月28日(土)の佐川野っ子祭りでは、地域の方に教えていただきながら、「竹とんぼ」「缶ぽっくり」「絵手紙」「折り紙」「お手玉」「テープ細工」の中から、自分でやってみたい物作り体験を選び楽しく活動しました。今回は、その中から3つの体験活動の感想を紹介します。

ハンディキャップ体験

4年 梶山 華蓮

車いす体験をして、わたしは坂がある時は、ちゃんとおさえないと車いすから落ちてしまいそうで危ないと思いました。だから、車いすに乗った体の不自由な人を見かけたら、自分のできる手助けをしたいと思いました。



4年 小池 駿

高れい者ぎ似体験では、思うように動いたり歩いたりすることができませんでした。この体験を通して、高れい者の大変さが、よく分かりました。自分もしょう来、高れい者になります。そう考えると、手助けをしたいと思いました。

4年 鈴木 心菜

わたしは、アイマスクをして歩いたら何も見えなくて、とてもこわかったです。目の不自由な人は、白杖を持って確かめながら一生けん命生活しているということが分かりました。目の不自由な人が近くにいたら、自分ができることをやって、助けたいと思いました。



4年 白岩 爽楽

ぼくは、点字を初めて打ちました。1文字ずつ点字を打つことは、むずかしかったです。目が不自由な人は、手だけで読むことができるので、すごいと思いました。まちで出会ったときは、お手伝いをしたいです。



小中合同音楽会

5年 小山 陽禾

手話をしながら「YUME日和」を歌いました。きれいな声で、笑顔で歌えたので、とても楽しい気持ちになりました。中学生の演奏のとき体を動かしたり、手をたたいたりした事も、楽しかったです。

3年 鈴木 星羅

折り紙作りでたいへんだったことは、はこを作るときに、上8まい、下8まい、全部で16枚折ったことです。でも、はこがかんせいした時は、うれしかったです。このはこは、ずっとわたしのたから物にしたいです。



6年 小倉 希颯

私は、今回初めて缶ぽっくり作りをしました。だから、手順がよく分からず、地域の方に教えてもらってみんなと楽しく作ることができました。また、絵も上手に描けたいし、校庭で遊ぶこともできてよかったです。



2年 柿沼 穂乃花

わたしは、お手玉の作り方を教えてもらいました。はりと糸をつかって作るので、はじめはとてもむずかしかったです。でも家の人や地いきの方がやさしく教えてくれたので、じょうずにできました。うれしかったです。

佐川野っ子祭り

南赤塚 小学校

南赤塚小学校では、4年生が総合的な学習の時間に福祉についての学習を行っています。人権強調週間には、全校児童で講話を聞き、身近な福祉について考えました。また、毎年たくさんの児童が夏休みに開催される「小学生チャレンジスクール」に参加しています。

★総合的な学習の時間★



4年 渋谷 壮真

ぼくは、手話体験をして手話を覚えられる人はすごいなと思いました。これからは、手話を覚えて耳の不自由な人が困っていたら、手話を使って助けたいです。



4年 阿部 瑠菜

車いす体験をして、段差を乗り越えるのがむずかしかったです。でこぼこ道など、外を車いすで通るのはとても大変だなと思いました。これからは、車いすに乗っている人を見かけたら手伝いたいです。

アイマスク体験をして、目の見えない人は毎日こんなにこわい気持ちになっているんだと気が付きました。これからは、目の不自由な人にお会いしたら、「大丈夫ですか」と話しかけて手伝いたいです。

ぼくは、アイマスク体験をして目の不自由な人の大変さがわかりました。体験でつえを使って歩いたとき、少しの段差に気付かずにたおれそうになってあぶなかったです。これからは、目の不自由な人に会ったら助けたいです。

4年 長谷川 琴美

わたしは点字体験をして、目の不自由な人の気持ちが少し分かった気がしました。目の不自由な人が点字を覚えるのは大変だと思いました。これから点字を覚えていきたいです。

4年 大山 悠太

ぼくは、点字体験をして目の不自由な人はとても大変だと分かりました。目の不自由な人は点字を全て覚えているのですすごいと思いました。ぼくも点字を覚えてみたいです。

4年 小林 悠暖

高れい者体験をして、高れい者は大変なんだと思いました。足や手が重くて、目がぼやけて見えるなど、たくさんの不便さを感じました。これから高れい者に会ったら、「大丈夫ですか？」と声をかけて手伝いたいです。

4年 松目 巨史

ぼくは、車いす体験をして、「車いすの人は段差のときにおしてもらわないと大変なんだ。」と思いました。段差を上りたい車いすの人を見かけたら助けたいです。



★人権集会の講話★

人権強調週間の講話として、足の不自由なさん佐々木清美さんから話を聞きました。車いすバスケットについてや、日常の暮らしについてお話し頂きました。



6年 高橋 尊

ぼくは、佐々木さんが車いすに乗ってバスケットボールをしている話を聞き、「できないことはこれから練習すればいい。」「あこがれの人や得意なことを見つければ自信がもてる。」という言葉に元気をもらいました。

小学生チャレンジスクール

5年 青木 勇也

障がい者の方には、困っているかを確認して声をかけてから手伝うということを知りました。障がいがあってもなくても協力してくれる人がいれば楽しく生活できるのだなと思いました。

5年 田代 華菜

高齢者体験ではおもりを付けて館内を歩くことで、年を重ねていくとどうなっていくかが分かりました。高齢者が困っていたときは、どのように助ければよいのかがよく分かりました。

6年 宮田 夢菜

車いすバスケットボールはすごく難しいということが分かりました。体が不自由な人でもスポーツができると教えてもらいました。次は違うスポーツもやってみたいと思いました。

新橋 小学校

新橋小学校では、地域の学校支援ボランティアの方々の協力を得て、体験学習を充実させています。4年生の総合的な学習の時間では、福祉について学習し、「だれにとっても住みやすい町」について考えています。6年生の総合的な学習の時間には、様々な伝統文化体験を行いました。また、3年社会科「昔の暮らし」、1年生活科「昔のあそび」では、地域の老人クラブの方々との交流も続いています。お年寄りに話を聞いたり、ふれ合ったりしながら、たくさんのことを学ぶことができました。

☆町小中合同クリーン活動☆

5年 小林 大祐

一生懸命掃除に取り組む中学生の姿に感動したり、交流会で中学生と一緒に遊んで過ごしたり、とても楽しかったです。かっこいい中学生をお手本に、ぼくもがんばりたいと思いました。

5年 鶴見 真大

中学生は、進んでゴミを拾ったり、小学生が危ないことをしていたら優しく注意してくれたりしてとても見習いたいと思いました。また、ゴミ拾いをして公園がとってもきれいになりました。来年はもっとがんばりたいです。

5年 新井 麗心

私は、中学生と一緒に楽しく落ち葉拾いができました。中学生は、私たちに掃除の仕方をやさしく教えてくれました。そんな中学生をととても尊敬します。私も見習って下学年の子にやさしく接したいです。

自分たちが生活している地域に住む野木二中生と一緒にクリーン活動を行いました。お互いに交流を図りながら、社会奉仕の精神を養うことができました。また、保護者や地域の方にもご協力いただき、地域との連携も図れました。

1年 さくら口 はるか

中学せいは、ほうきではいて、小学せいは、おちばひろいをしました。みんなで力をあわせてこうえんをきれいにできたので、うれしかったです。

1年 みや本 一き

ぼくは、とうこうはんのみんなとゴミひろいをしました。プラスチックやかん、おちば、はっほうスチロールをひろいました。ぼくらの町がきれいになって、よかったです。

☆生活科『昔のあそび』☆

現2年生が1年生の時に、丸林西富士見会、卯ノ木クラブ、新橋ローズクラブのみなさんから、生活科の学習で「昔のあそび」を教えてくださいました。



竹馬・めんこ・羽根つき・竹とんぼ・こま回し・あやとり・お手玉・けん玉・おはじきを教えてくださいました。



竹馬は初めは怖かったけど、前に倒すコツを教えてもらって、乗れるようになったときは、とても嬉しかったです。



こまの紐の巻き方が難しかったです。でも、巻き方も投げ方も何度もできるまで教えてくれたので、初めて回すことができました。

☆社会科『昔の暮らし』☆

新橋小学校近辺にお住まいの方々に、野木町の昔の町の様子や、昔の暮らしの様子を教えてくださいました。実際に話を聞いたり、実物を見たりしたことで、今と昔のくらしや道具の違いがよく分かりました。



昔の道具について
教えてくださいました。



昔の生活の様子について
教えてくださいました。

☆総合『バリアフリーを考えよう』☆

4年 大沢 清太郎

アイマスク体験では、階段を降りるときが、特に恐くて落ちたらどうしようと考えてしまいました。目の見えない人の大変さを実感することができました。

4年 山田 唯衣

アイマスク体験では、今どこにいるのか、階段がいつ終わるのが分からなくて、とても恐かったです。これからは目の不自由な人がいたら助けたいと思います。



☆総合『伝統文化体験』☆

総合的な学習で、日本の伝統文化について学んでいます。学習の一環として、地域のボランティアの先生方に、伝統文化体験の講師をしていただきました。華道、茶道、箏の3種類の文化体験をし、丁寧に教えていただくことで関心が高まりました。



初めは緊張していましたが、作法や奏法が分かるようになると楽しくなっていきました。これからの人生に役立つことを願います。

野木 中学校

野木中学校では福祉委員を中心に毎月古紙・アルミ缶回収を実施しています。潤心祭では地域の高齢者の方を招待し、交流を図りました。今年は潤心祭前日までの雨の影響でランドゴルフは実施できませんでしたが、地域の方と交流できました。

古紙・アルミ缶回収



3年 おおもり えりか 大森 恵梨香

私たち福祉委員は毎月末2日間かけて古紙・アルミ缶回収をしています。「回収率100%を達成する」という目標のもと委員会の呼びかけはもちろん、クラス一丸となって協力しています。

年度の最初は全く集まらなかった古紙・アルミ缶回収も皆様のご協力のおかげで徐々に回収率が上がったことをうれしく思います。

私は3年になり、福祉委員長を務めさせていただきました。他の福祉委員と協力し、1年間やり切ることができました。1つの目標に向かい全員で頑張ることの楽しさ、大切さを学びました。最後に野木中学校のために役立てたことを誇りに思います。1年間協力してくださった皆さんありがとうございました。

潤心祭

野木中学校では、毎年福祉委員を中心に、生徒から地域の高齢者の方へ潤心祭の招待状を送ります。

今年もたくさんの方々がお越しくださり、とても盛り上がりました。



ダンス講座 潤心祭での発表

3年 かきめま ゆいと 柿沼 唯斗

私は3年間ダンス講座で活動してきました。ダンス講座ではソーラン節を毎年踊っています。最後の3年生での活動は今までとは違う振付を考えたり、動きを変えたりと去年までとは少し違ったダンス講座を作ることができました。

私が最後まで座長を務めることができたのは、みんなが私についてきてくれたからだと思っています。活動中常に支えてくださったダンス講座の先生方と生徒のみんながいたので、最高のソーラン節を完成することができました。ありがとうございました。



和太鼓講座 潤心祭・虹の舎での発表

3年 わたなべ ほなみ 渡辺 帆南

私は和太鼓講座の集大成といえる「八丈」を11人のメンバーで演奏しました。最初は全くリズムが合わず、覚えることにも苦労しました。しかし、メンバーとの話し合いや曲合わせを重ねていくうちに、一人一人が自信を持って演奏することができたと思います。その「八丈」を「虹の舎」で行われた収穫祭で披露させていただきました。予想以上にお客さんがいらっしやり、自分たちも気を引き締めながら演奏することができました。お客さんの笑顔と拍手はとても嬉しかったです。

私はこの日本の伝統楽器に触れる体験が、忘れられない思い出となりました。そして、協力する大切さや人を笑顔にする楽しさを改めて感じるすることができました。この経験を今後の生活に活かしていきたいです。

野木第二 中学校

野木第二中学校では、6月の「ひまわり荘訪問」で、高齢者の皆さんと七夕の飾りつけを楽しむことができました。また、8月の「One dayボランティアスクール」では、宇都宮市にある「栃木県防災館」において災害の疑似体験、さらに「サン・アビリティーズ」にて車いすバスケットボール体験を行いました。10月には「輝光祭」において、ひまわり荘の方々を招待して、楽しい時間を過ごすことができました。このことは貴重な体験となり、今後の生活に生かしていきたいと思ひます。



ひまわり荘訪問

3年 和田 侑也

私は、ひまわり荘を訪問して、七夕飾りをしてきました。最初入った時は、とても緊張しましたが、作業を行うにつれて、ひまわり荘の方たちの笑顔が増えていき、とても嬉しかったです。30分ぐらいの時間でしたが、高齢者の方たちへの見方が変わりました。

現在、私の住んでいる日本は、高齢化社会となっています。だからこそ、高齢者を尊重していくことが大切であると思ひました。

One dayボランティアスクール

2年 島田 聖久

今回のOne dayボランティアスクールでは、防災と、障がい者の方々について学びました。防災館では、大雨、強風、地震、火災の貴重な体験をすることができました。大雨の体験では、もの凄い雨量を体験できました。強風の体験では、台風並みの風速体験ができ、上半身に風が当たっただけでも、下半身がふらついてしまうほどでした。地震の体験では、震度2から震度7までの揺れをランダムに体験しました。震度6弱以上だと、物を掴んでいないと立ってられなく、その上実際では、物が倒れてくるとのことなので恐怖心を覚えました。火災の体験では、煙がたまった部屋からいかに非常口に避難するかという体験をしました。火災はさまざまな原因で起こり、コンセントにほこりと水分がたまり、火災が発生する「トラッキング現象」というのを初めて知りました。

午後は、車いすバスケットボール体験と佐々木さんの講話を聴いて意識を改めることができました。車いすバスケットボールを体験してみて、障がい者の方もこんな楽しい競技ができるのだなと思ひました。



2年 須加 歩



ボランティアスクールに参加して、災害は決して自分の遠い存在なのでなく、身近なことなんだと強く感じました。防災館では、自然災害の恐ろしさを肌で感じるすることができました。

もし災害が起きたら、今回の体験を活かして、自分で判断して、自分で自分の身を守ろうと思ひました。火災のビデオを見た時には、火災は身近な様々な原因で起こってしまうことを知りました。火災が起こらないように普段の生活を見直そうと思ひました。

車いすバスケットボール体験では、上手くできず不安でしたが、実際にやってみると楽しく上手にできてよかったです。また機会があったらやってみたく思ひました。その後、実際に車いすを使って生活している方の講話を聞きました。生の声を聞くことができ、初めて知ったことがたくさんありました。

このボランティアスクールは、どれも貴重な体験ばかりでした。今回の体験をこれからの生活に生かしていきたいと思ひます。

ひまわり荘接待



1年 吉田 哉子

中学生になり、初めての輝光祭で、ひまわり荘の方々の接待をさせていただきました。高齢者の方と触れ合うのは初めてのことでとても緊張しましたが、ひまわり荘の方から話してくださり、とても和むことができました。学年展示や学級展示をクラスごとに丁寧に案内したり、ビッグアートや昔の思い出の話をしたり、ひまわり荘の方と一緒に楽しむことができました。この経験をきっかけに高齢者の方へ優しく接し、これからの将来に生かしていこうと思ひます。

1年 知久 彩花

私は今回のひまわり荘の方々の接待をするまでは、お年寄りとは触れ合う機会があまりなかったので、とても良い経験ができたと思ひます。最初はとても緊張して、うまく話せるかどうか心配でしたが、話してみるととても明るい方たちで、展示作品を見ている時や、一緒に遊んでいる時も、ずっと笑顔でいることができました。また、会話も途切れることなく続いて、最初不安だった気持ちもすぐに消えてしまいました。この経験をいろいろな事に生かしていきたいです。

手話サークル「虹の会」

川井 みな子

私は、高校2年生の時から7年間手話サークル虹の会でろうあ者の方達と一緒に毎週手話を学んでいます。

この手話サークル虹の会は活動を始めてから28年が過ぎ、今年はその長年の功績を認められ、「平成29年度ボランティア功労者厚生労働大臣表彰」を頂くことができました。これも、長年の先輩達による「努力」が認められ、表彰を頂けるまでのサークルになったのではと思います。

サークルでは、健聴者とうろうあ者が交流を深めながら一緒に手話の勉強をしています。

サークルの活動として、夏のサマースクールや各小学校の手話体験学習等を行っております。それをきっかけに手話に興味を持って頂き、ろうあ者の方々と触れ合い「手話」を知って欲しいと思います。

興味のある方は、月曜日の「野和の会」、土曜日の「虹の会」がいずれも午前10時から12時まで勉強会を行っておりますので、いつでも見学に来て下さい。

皆さんに来て頂けることを両サークル一同、心よりお待ちしております。



手話サークル「虹の会」

活動日：毎週土曜日(午前10時～正午)
場 所：ホープ館(町老人福祉センター)
年会費：1,000円

手話サークル「野和の会」

活動日：毎週月曜日(午前10時～正午)
場 所：ホープ館(町老人福祉センター)
年会費：1,000円

点字会「のぎ」

栗島 より子

点字とは、指先の触覚により、読み取る視覚障がい者用の文字で6点の組み合わせで構成されています。

野木町の点訳サークル点字会「のぎ」が発足したのが、平成12年で十数年が経ちます。結成当初は、会員数は10名前後。現在は、毎月第2・4火曜日の午前中に集い、会員(現在7名で随時募集中です。)は少ないのですが、和気あいあいと活動をしています。主な活動は、町お知らせ版・時刻表・小説・絵本等を点訳し、目の不自由な方へお届けをしております。

また、町内の小中学校での体験学習支援や社協主催のボランティアサマースクールや小学生チャレンジスクールなどの各種イベントへの参加協力などたくさんの人との出会いがあります。特に、目の不自由な方のお話を真剣な眼差しで聞き入る子どもたちの姿や自分で点字を打ち、打った点字を読んでいただくと「凄いね」と一言など。

点字を打つための道具には、点字器を用い1点1点、紙に直接打っていましたが、現在は、パソコンでの点訳。といってもパソコンが自動的に変換するのではなく、キーボードの6個のキーを点字の6点にあてはめ、点字の形どおりに入力します。最近では、凸面点字器「ツツテンくん」が発売され、以前よりも早く点字が読めるのではと期待しております。

最後に、点字を通じて出会った方々に心を込めて“ありがとう”の感謝の気持ちを伝えるとともに今後もボランティア活動をしていきたいと思っております。



点字会「のぎ」

活動日：第2・4火曜日(午前10時～正午)
場 所：ホープ館(町老人福祉センター)
年会費：500円



朗読の会「のぎく」

勝又 将雄

朗読の会「のぎく」は毎月、視覚障がい者(目の見えない人)に町の「広報」や「お知らせ版」等を、テープやCDに音訳して伝える音訳奉仕をしています。

聞いている人に解りやすく正確な情報を伝えられるように、第2水曜日は勉強会を行っています。

その他の活動は、「虹の舎」と「デイサービスさくら」に出向き、絵本や紙芝居の読み聞かせ等を行っています。社会福祉協議会の「福祉のつどい」、「ボランティアサマースクール」、「小学生チャレンジスクール」等の行事に参加協力しています。

朗読及び音訳奉仕に興味のある方は、まず社会福祉協議会が開催する「朗読講座」に参加してみませんか。



朗読の会「のぎく」

活動日：第1・2・3水曜日、第4金曜日
(午後1時30分～午後4時)
(第1水曜日は午前9時30分～)
場 所：ホープ館(町老人福祉センター)、図書館 他
年会費：500円

夏の思い出 2017

ボランティアサマースクール



福祉講座
手話で自己紹介に挑戦!



ハンディキャップ体験
目の見えない世界を体験



施設体験学習(パステル)
利用者さんを見て勉強!



息を合わせて♪



施設体験(新橋児童館)
どっちがけん玉上手いかな?

小学生チャレンジスクール



福祉講座
集中して点字を打ってます



うしさんとバルーンアート
なかなか難しい...



共同募金についての学習 &
オリジナル赤い羽根づくり
学習のあとに、羽根づくり♪



栃木県防災館：防災体験
福祉プラザ：車いすバスケット
ボール体験

合同プログラム世代間交流 竹細工講座・流しそうめんとバーベキュー



竹細工講座
協力して箸と器づくり♪



みんなで食べるとおいしいね!
流しそうめんとバーベキュー



全プログラム終了!
ボランティアの皆さん、
ありがとうございました。

One day ボランティアスクール



栃木県防災館



車いすバスケットボール体験



佐々木さんの手動運転装置付の車を見学